

# 2008 年漁業センサス結果の概要(確定値)

関東農政局

群馬農政事務所

平成 2 1 年 1 2 月

**農林水産省**

調査の仕様	1
-------	---

## 統計表

### 1 内水面漁業経営体調査

(1) 内水面養殖業経営体数	3
----------------	---

(2) 専兼業別個人経営体数	3
----------------	---

(3) 内水面養殖業の基本構成	3
-----------------	---

(4) 営んだ養殖種類別経営体数	3
------------------	---

### 2 内水面漁業地域調査

漁業種類別放流量	4
----------	---

### 3 流通加工調査

(1) 冷凍・冷蔵工場	4
-------------	---

(2) 水産加工場	4
-----------	---

ホームページ掲載案内	5
------------	---

## 【 調査の仕様 】

この概要は、平成20年11月1日現在で実施した2008年漁業センサスの内水面漁業調査及び流通加工調査の結果を取りまとめたものです。

### 1 調査の目的

本調査は、漁業の生産構造・就業構造を明らかにするとともに、漁村、流通・加工業等、漁業の背景の実態を把握し、水産行政諸施策の企画・立案、推進等に必要な資料を整備することを目的として実施しました。

### 2 調査の体系

本調査は、農林水産本省－統計・情報センター－調査員の体系で実施しました。

調査の種類		調査の対象	調査期日	調査方法
内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査	内水面漁業経営体	平成20年11月1日現在	統計調査員が、調査客体に対し調査票を配付・回収を行う自計申告調査の方法により行いました。 ただし、調査客体から面接調査の申出があった場合には、統計調査員による調査客体に対する面接調査の方法をとりました。
	内水面漁業地域調査	内水面漁業協同組合	〃	
流通加工調査	冷凍・冷蔵、水産加工場調査	冷凍・冷蔵施設並びに水産加工業の事業所	〃	統計調査員が、調査客体に対し調査票を配付・回収を行う自計申告調査の方法により行いました。 なお、調査票の回収はオンラインによる方法も可能としました。

### 3 調査の定義及び約束事項

#### (1) 内水面漁業経営体調査

過去1年間

平成19年11月1日から平成20年10月31日の期間をいいます。(以下の調査も同じ。)

内水面漁業経営体

湖沼漁業経営体及び内水面養殖業経営体をいいます。

湖沼漁業経営体

過去1年間に調査対象湖沼において水産動植物の採捕の事業または養殖の事業を、利潤または生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として営んだ世帯または事業所をいいます。

内水面養殖業経営体	過去1年間に利潤又は生活の資を得るため、内水面において販売を目的として計画的かつ持続的に投じ(餌)又は施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成若しくは成魚を養成した世帯及び事業所をいいます。
経営体の専兼業分類	
専業	個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業からのみあった場合をいいます。
第1種兼業	個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業からの収入がそれ以外の仕事からの収入の合計よりも大きかった場合をいいます。
第2種兼業	個人経営体(世帯)として、過去1年間の収入が自営漁業以外の仕事からもあり、かつ、自営漁業以外の仕事からの収入の合計が自営漁業からの収入よりも大きかった場合をいいます。
(2)内水面漁業地域調査	
内水面漁業地域	内水面において漁業権行使区域により区分されている水域及びこれに接続する地域をいいます。
(3)冷凍・冷蔵、水産加工場調査	
冷凍・冷蔵工場	陸上において主機10馬力(7.5kW)以上の製氷・冷蔵・冷凍施設を有し、過去1年間に水産物(のり冷凍網を除く。)を冷凍し、又は低温で貯蔵した事業所をいいます。
水産加工場	販売を目的として過去1年間に水産動植物を他から購入して加工製造を行った事業所及び原料が自家生産物であっても加工製造するための作業場又は工場と認められるものを有し、その製造活動に専従の従事者を使用し、加工製造を行った事業所をいいます。

#### 4 数値及び記号の表示

##### (1) 数値

ア この統計表の数値は確定値であり、これまで農林水産省ホームページに掲載してきた概数値と異なっている場合があるので、利用に当たっては注意してください。

イ 表示単位未満を四捨五入している統計数値については、計と内訳が一致しない場合があります。

##### (2) 記号

統計表中に使用した記号は次のとおりです。

「－」は事実のないものです。

「△」は負数又は減少したものです。

【統計表】

1 内水面漁業経営体調査

(1) 内水面養殖業経営体数

単位 { 経営体数：経営体  
比率：%

区分	計	個人	会社	漁業協同 組 合	漁業生産 組 合	共同経営	官公庁・ 学校・ 試験場	
平成20年	53	34	13	-	2	3	1	
15	77	52	17	-	3	4	1	
増減率	平.20/15	△ 31.2	△ 34.6	△ 23.5	-	△ 33.3	△ 25.0	0.0
構成比	平.20	100.0	64.1	24.5	-	3.8	5.7	1.9
	15	100.0	67.5	22.1	-	3.9	5.2	1.3

(2) 専兼業別個人経営体数

単位 { 経営体数：経営体  
比率：%

区分	計	専業	第1種 兼業	第2種 兼業	
平成20年	34	14	9	11	
15	52	14	12	26	
増減率	平.20/15	△ 34.6	0.0	△ 25.0	△ 57.7
構成比	平.20	100.0	41.1	26.5	32.4
	15	100.0	26.9	23.1	50.0

(3) 内水面養殖業の基本構成

単位：%

区分	経営体数	養殖池数	養殖面積	通常の養殖業従事者数			1経営体 平均養殖業 従事者数	
				計	家族	雇用者		
平成20年	53	663	8 043	151	64	87	2.85	
15	77	922	10 483	221	109	112	2.87	
増減率	平.20/15	△ 31.2	△ 28.1	△ 23.3	△ 31.7	△ 41.3	△ 22.3	△ 0.7
構成比	平.20	-	-	-	100.0	42.4	57.6	-
	15	-	-	-	100.0	49.3	50.7	-

(4) 営んだ養殖種類別経営体数

単位 { 経営体数：経営体  
比率：%

区分	計 (実数)	食 用						
		小計 (実数)	にじます	その他の ます類	あゆ	こい	ふな	
平成20年	53	47	21	20	4	15	2	
15	77	76	33	31	6	21	1	
増減率	平.20/15	△ 31.2	△ 38.2	△ 36.4	△ 35.5	△ 33.3	△ 28.6	100.0

区分	食用(つづき)			種 苗 用				
	うなぎ	すっぽん	その他	小計 (実数)	ます類	あゆ	こい	
平成20年	-	2	5	22	11	5	9	
15	-	2	8	14	8	3	6	
増減率	平.20/15	-	0.0	△ 37.5	57.1	37.5	66.7	50.0

区分	種苗用	観 賞 用			
	その他	小計 (実数)	錦ごい	きんぎょ	
平成20年	1	1	-	1	
15	2	3	2	3	
増減率	平.20/15	△ 50.0	△ 66.7	-	△ 66.7

## 2 内水面漁業地域調査

単位 { 魚類尾数：千尾  
増減率：%

区 分	さけ・ます類						あゆ	
	さく河性	陸 封 性				その他		
	さくらます	にじます	あまご	やまめ	いわな			
平成 20年	-	551	-	1 240	340	5	2 163	
15	2	338	-	1 365	359	8	2 276	
増減率	平.20/15	-	63.0	-	△ 9.2	△ 5.3	△ 37.5	△ 5.0

  

区 分	こい	ふな	うなぎ	その他の魚種	貝類	わかさぎ卵	その他の卵	
平成 20年	1	143	23	68	-	34 200	1	
15	36	242	19	50	-	65 200	20	
増減率	平.20/15	△ 97.2	△ 40.9	21.1	36.0	-	△ 47.5	△ 95.0

## 3 流通加工調査

### (1) 冷凍・冷蔵工場

区 分	冷凍・冷蔵工場数	従業者数計	従業者数男性	従業者数女性	うち、常時従業者数			
					小計	男性	女性	
平成 20年	工場 27	人 794	人 424	人 370	人 784	人 418	人 366	
15	28	1 044	583	461	921	551	370	
増減率	平.20/15	△ 3.6	△ 23.9	△ 27.3	△ 19.7	△ 14.9	△ 24.1	△ 1.1

### (2) 水産加工場

単位 { 加工場数：工場  
増減率：%

区 分	水産加工場数(実数)	従業者数	富んだ加工種類別延べ加工場数					
			ねり製品	冷凍食品	素干し品	塩蔵品	節製品	
			かまぼこ類					
平成 20年	工場 19	人 1 017	1	-	1	1	3	
15	23	1 140	2	1	1	2	2	
増減率	平.20/15	△ 17.4	△ 10.8	△ 50.0	-	0.0	△ 50.0	50.0

区 分	富んだ加工種類別延べ加工場数 (つづき)							
	塩辛類	水産物漬物	その他の食用加工品				焼・味付のり	
			調味加工品			その他		
			水産物つくだ煮類	乾燥・焙焼・揚げ加工品	その他			
平成 20年	1	2	6	1	5	2	3	
15	1	3	6	-	2	4	4	
増減率	平.20/15	0.0	△ 33.3	0.0	-	150.0	△ 50.0	△ 25.0

区 分	(つづき)	
	冷凍水産物	
平成 20年	1	
15	2	
増減率	平.20/15	△ 50.0

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。  
【[http://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/gunma/2009data/index/html](http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/gunma/2009data/index/html)】  
又は、関東農政局トップページ→各種統計→群馬県



問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 群馬農政事務所 統計部  
経営・構造統計課 構造統計係

電 話 027(231)4279

◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 群馬農政事務所 統計部  
統計企画課

電 話 027(219)1415



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施します。  
調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページ URL : <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>



農林業センサス